

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 003	提案機関名 神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名	高温乾燥に対応した野菜の安定生産技術の確立
要望問題の内容	【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、キャベツやダイコンなどの三浦特産野菜の作型については、労力分散や有利販売などの理由から前進化しており、8月上旬から本格的に栽培を始める生産者も多くなっている。しかし、近年、7～9月の最高気温が30℃を超える日が増え、また極端な乾燥が続くことも多い。三浦半島地域のキャベツは露地の地床育苗がほとんどであることから、夏期の高温や乾燥の影響を強く受け育苗を失敗するケースが増えている。また、育苗を要しないダイコンも8月は種が増えており、高温・乾燥が初期生育に影響し、近年、増えている1粒は種栽培の欠株増化の原因となっていると考えられる。 さらに、ニンジンやタマネギ、カリフラワー、ブロッコリーなど、ダイコン、キャベツを代替、補完する品目に取り組む生産者も増えつつあるが、これらの品目も、は種時期が8～9月に集中することから同様な課題を抱えており、普及拡大の障害と一因となっていることが考えられる。 これまで寒冷紗などで対応してきたが、露地栽培で利用できる新たな遮熱用資材や作物の高温耐性を高めると期待されるバイオスティミュラント資材などの特性解明と効果的な使用技術を確認していただきたい。 ・対象地域：三浦半島地域 ・対象作物：ダイコン(607ha)、キャベツ(914ha)、ブロッコリー(19ha)、ニンジン(14ha)、タマネギ(1ha)、カリフラワー(不明)ほか
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅱ-2(1)ア(オ)露地栽培における野菜の高温期の初期成育安定化手法の確立(①実施) Ⅱ-4(2)ア(エ)早春キャベツ地床育苗の高温対策技術の確立(②実施中)		
対応の内容等	近年の高温により露地野菜の育苗が不安定となっている現状を受け、当所でも遮熱資材を活用した対策技術の確立に向けた試験を行っており、継続して実施します。一方、生理障害への対策において近年注目されているバイオスティミュラント資材は有効成分や目的とする効果が多岐にわたり、高温に有効な資材、処理方法の試験事例は多くありません。そこで、三浦半島地域の露地野菜において、バイオスティミュラント資材の種類や処理方法を検討し、高温時の初期成育を安定化する手法の確立に向けた試験を実施します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			